

2017年 12月 29日

各 位

株式会社 三井住友銀行

株式会社奥村組に「S M B C なでしこ融資」を実施

株式会社三井住友銀行(頭取CEO:高島 誠)は株式会社奥村組(代表取締役社長:奥村 太加典)に「S M B C なでしこ融資」を実施致しました。

「S M B C なでしこ融資」は、融資実行時にお客さまの女性活躍推進の取組状況を独自の基準で“見える化”()し、現状の取組状況の分析や今後の課題、その課題への取組事例などをご提供させて頂く融資商品です。

今回対象となりました、株式会社奥村組に対する診断結果は、今後、女性活躍が期待できる「女性活躍のグロース企業」となりました。

特に、株式会社奥村組では、以下のような取組と実績を有しておられます。

建設現場で女性が活躍する姿を一般の方々に積極的にアピールするなどして建設業で働く魅力を発信し、女性総合職の採用を進め、2年連続して採用者に占める女性の割合が拡大。

一般職からの総合職への転換、または総合職として入社した女性が徐々に増加することに伴い、人材の育成が図られ、女性管理職比率は3年間で10倍に上昇。

男性の育児休業取得については、まとまった日数を取れることへの理解が進み、2016年度の平均取得期間は62日を達成。

さらに、同社では、今後のさらなる女性活躍推進に向け、経営トップが、「女性社員の積極的採用、育成を行うとともに、育児と仕事の両立を支援する制度の充実等を通じて女性社員が安心して働ける環境整備を進めることにより、女性の指導的立場での活躍を着実に推進する」と宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、「2021年3月までに、技術職の女性を2015年度と比較して2倍以上とする」とコミットしておられます。

三井住友銀行では、「S M B C なでしこ融資」により、お客さまの女性活躍推進に向けた取組を、金融を通じて応援して参ります。



現場見学会



意見交換会

()“見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：
 淵崎 正弘）に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。